

領域：	パブリック、超領域		
テーマ：	読んで、書いて、聞いて、観ることで経済学を学ぶ		
担当者名：	倉本宜史		
開講時期：	後期：金曜日 4・5・6 限	募集定員：	22 名
内容：	経済学の理解を深めるため、本を読み、文章（小論文、レポート）を書き、社会人からの話を聞き、映画やドラマを観てイメージを持ってもらいます。		
到達目標：	どのような興味・関心を持っている学生に対しても、自分たちの良さを理解し、他者と接する中で学習する楽しさを知ってもらうことを目標とします。		
講義方法：	<p>（4 限）受講生には読んできた教科書（後日指定）の内容を講義時間に解説してもらいます。作業は全てグループで行ってもらいます。</p> <p>（5 限）教科書のテーマに沿った課題の小論文かミニレポートを講義時間内に作成してもらいます。</p> <p>（6 限）ゲストスピーカーからの話を聞く、または映画やドラマを観ることで、経済のイメージを深めてもらいます。</p> <p>*ゲストスピーカーの都合により、時間が入れ替わることがあります。</p>		
準備学習：	なし。このプロジェクトでは知識の詰め込みを行いませんし、知識を前提としません。		
成績評価：	個人の受講態度とグループワークへの取り組み姿勢を総合的に評価します。ただし、「学ぶ気」の無い学生は出席していても講義の雰囲気乱すものと判断し「不可」にします。		
欠席基準：	授業実施回数の 3 分の 1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合は、単位を修得することができません。（「欠席」評価となります。）		
講義構成：	第 1 回目～第 15 回目：「講義方法」の欄に書いた通り、4 限目から 6 限目まで休憩を挟み、続けて作業をしてもらいます。		
履修条件：	「学ぶ気」があること。事前に教員との面談を行っている学生のみ履修を受け付けます。		
推奨科目：	自分で必要と判断した授業を履修してください。		
選考方法：	履修希望者が多い場合は、事務室と相談の上、MyKONAN にてお知らせします。		
備考：	毎年度、学ぶ気のない学生がいます。教員にとっても学生にとっても不幸です。学ぶ気のない学生は履修しないでください。		
説明会：	教員に直接メールを送って、説明を受ける時間を確保してください。		